

## プログラム

※ ( ) は講習者、実演団体、  
開始時刻や順番に変動がある場合があります。

1. 10:00 〔オープニング〕  
ソトマール地方の踊り
2. 10:20 バイダセンティバー二村の踊り
3. 10:40 〔講習：カロタセグ地方の踊り〕  
(ラーザール・アティッラ)
4. 11:25 ククルメント地方の踊り
5. 11:45 〔ランチタイム〕
6. 12:30 ドゥナントゥール地方の踊り  
(Melodikus + 高久)
7. 12:55 ボンチダ村の踊り (Csalogatós Banda)
8. 13:20 テケルーの演奏と歌 (高久圭二郎)
9. 13:40 ガルガメント地方の踊り
10. 14:05 ショービデーク地方の踊り
11. 14:25 サースチャーヴァーシュ村の踊り  
(Csalogatós Banda)
12. 14:45 〔式典〕
13. 15:10 デーラルフォールド地方の踊り  
(リカ + 高久 + シン)
14. 15:25 カロタセーギ・レギーニエシュ (Csapás)
15. 15:45 カロタセグ地方の踊り (Csapás)
16. 16:05 セーク村の踊り (Melodikus)
17. 16:30 ゼンプレン地方の踊り
18. 16:55 メゾシェーグ地方の踊り (Melodikus)
19. 17:25 〔フィナーレ〕

## KALOTASZEGI HAJNAL

Haza is kéne már menni  
Vajon mit fognak mondani  
//: Sötét az ég éjszaka  
Babám kísérelj el haza  
Megszolgálom én ezt valaha ://

A mezei kispacsirta  
Mind a két szemét kisírta  
//: Sírok én magam is,  
Sír az én galambom is  
Lehajlik értem még az ág is ://

Valamennyi gácsér ruca,  
Mily kunkorú annak farka,  
//: Valamennyi magyar lány,  
Piros pántlika haján,  
Szeret is az engem igazán ://

〔協賛〕 (五十音順)  
踊り部 (東京)  
ターティカ (東京)  
東京レゲネーク (東京)  
土香 (愛知)  
ネピタンツ (東京都)

## TÁNCHÁZTALÁLKOZÓ JAPÁN 2006

# ハンガリー・ダンス ・フェスティバル 2006 Táncháztalálkozó Japán

開催日：2006/11/5

開催時間：10:00～17:30



ハンガリーの踊りの祭典

深川江戸資料館 レクホール

東京都江東区白河 1-3-28

TEL: 03-3630-8625

## ごあいさつ

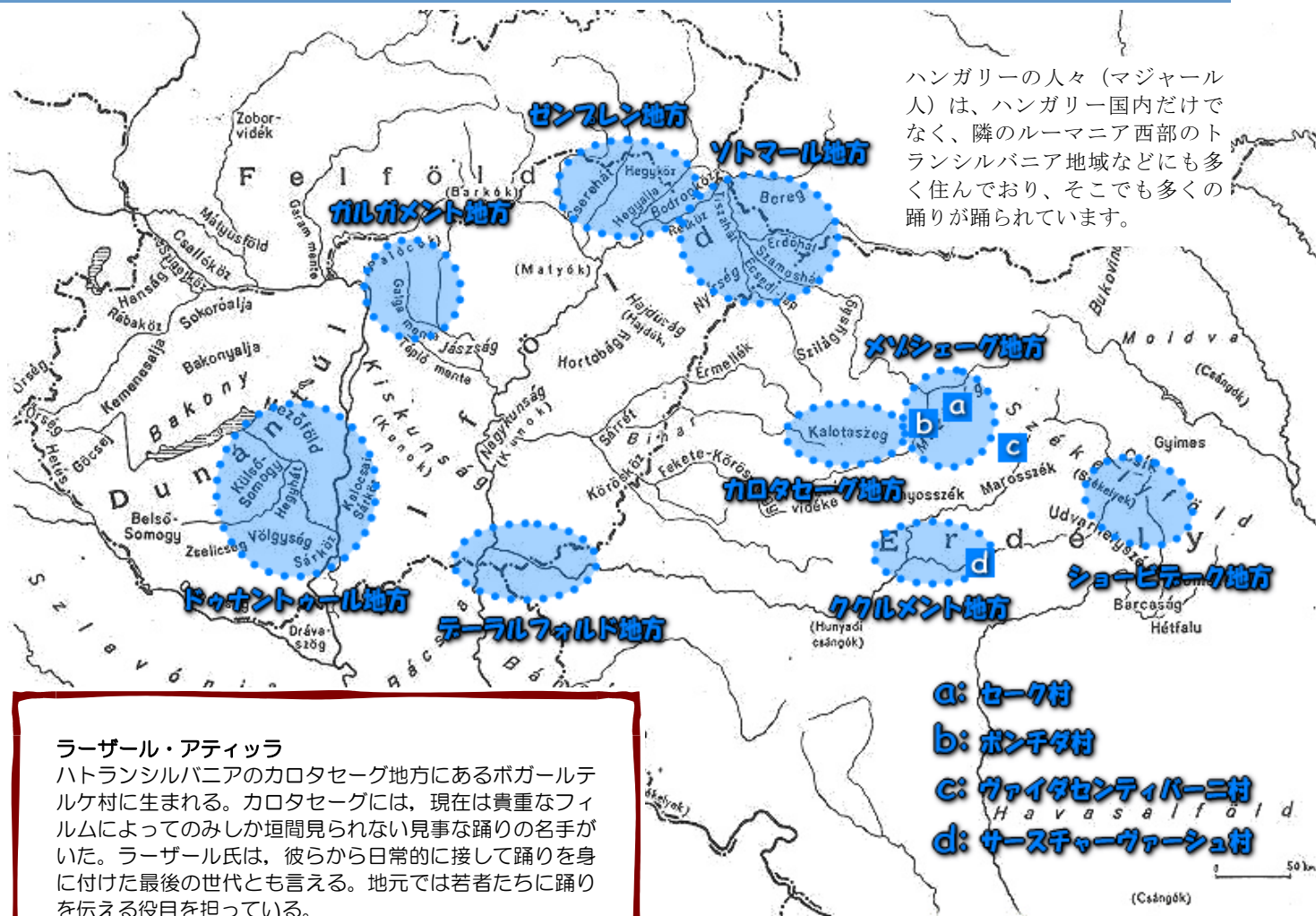
ハンガリー・ダンス・フェスティバル/ TÁNCHÁZTALÁLKOZÓ JAPÁNにお出でいただきまして、まことにありがとうございます。このフェスティバルは、ハンガリーのブタペストで毎年春に行なわれているターンツハーズタラルコゾーの日本版として、2000年から始まったものです。

このイベントには、ハンガリーの踊りを普段踊っている方だけでなく、全然知らない方でも十分満足できるように企画しています。また、近年、ハンガリーの踊りだけでなく音楽を演奏する楽団も出てきましたが、今年もプログラムの6割が生演奏によって伴奏されます。

特に、今年はトランシルバニアのカロタセグ地方で地元の若者に踊りの指導をしているラーザール・アティツラさんにより、村の踊りに直接触れられる貴重な機会を設けました。また、昨年と同様、ハンガリーで演奏活動を行っている高久圭二さんも演奏いただけます。本日はどうか大いに楽しんでお過ごし下さい。

最後に今回のイベントの実施に当たり、駐日ハンガリー共和国大使館を始めとして、協賛していただいた団体及び多くの方々のご協力をいただき、心より感謝申し上げます。そして、このイベントによって日本でハンガリーの民族舞踊の輪がさらに広がり、ひいては、両国の交流と友好の発展につながれば幸いです。

ハンガリー・ダンス・フェスティバル実行委員長  
神谷 孝



ハンガリーの人々（マジャール人）は、ハンガリー国内だけでなく、隣のルーマニア西部のトランシルバニア地域などにも多く住んでおり、そこでも多くの踊りが踊られています。

### ラーザール・アティツラ

ハトランシルバニアのカロタセグ地方にあるボガールテルケ村に生まれる。カロタセグには、現在は貴重なフィルムによってのみしか垣間見られない見事な踊りの名手があった。ラーザール氏は、彼らから日常的に接して踊りを身に付けた最後の世代とも言える。地元では若者たちに踊りを伝える役目を担っている。

### 高久圭二

高校時代に合唱団コダーイの臼木恵二氏と出会い、ハンガリーを知る。埼玉大学教育学部卒業後、1993年にリスト音楽院へ留学、打楽器をラーツ・ゾルターン氏に師事。2003年9月末のティサアルパール「トウモロコシ収穫祭（テケルー祭）」訪問が契機となり、同年セレーニ・ベーラにテケルーを師事。2005年3月よりハンガリー・テケルー・アンサンブルのレギュラーメンバーとして演奏活動中。  
<http://web.t-online.hu/yuitobt/>

ハンガリー・ダンス・フェスティバル実行委員会  
<http://tanchaz.exblog.jp>  
E-mail: [tkamiya@jcom.home.ne.jp](mailto:tkamiya@jcom.home.ne.jp)

#### 【お問い合わせ先】

神谷 孝 (踊り部)	<a href="mailto:odoribe@jcom.home.ne.jp">odoribe@jcom.home.ne.jp</a>
軍司 貞一 (ターティカ)	<a href="mailto:GundzsiTeiicsi@aol.com">GundzsiTeiicsi@aol.com</a>
財原 和彦 (ネピタンツ)	
中村 晴美 (ネピタンツ)	<a href="mailto:harumi-n@nifty.com">harumi-n@nifty.com</a>